

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて

☒ 知識及び技能	☒ 思考力、判断力、表現力等
社会的事象について理解する。(知識・理解) 諸資料を効果的に読み取る技能を身につける。(技能)	社会的事象について思考・判断したことを、説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	定期テストで、基本的な知識を問う問題で、正答できない生徒が3割程度いる。 ☒ 複数の資料を活用して、答えを導き出すことができる生徒が少ない。 ☒ 歴史上の出来事を適切に並び替える問題に対する正答率が低い。基礎的・基本的な知識に関連して、その知識を活用して推測することに課題がある。 ☒	定期的な小テスト(一問一答形式を含める)の実施。 単元のまとめる際に、課題解決型学習の実施。	単元のまとまり 定期考査前後 単元ごと	
第2学年	定期テストで、基本的な知識を問う問題で、正答できない生徒が2割程度いる。 ☒ 複数の資料を活用して、答えを導き出すことができる生徒が少ない。 ☒ 授業プリントの思考力、判断力、表現力が問われる問題に対する記述が不十分な生徒が見られる。 ☒	定期的な小テスト(一問一答形式を含める)の実施。 単元のまとめる際に、課題解決型学習の実施。	毎回の授業 単元ごと	
第3学年	基礎的・基本的な知識について問う問題に対する正答率が低く、粘り強く学習を復習することに課題がある。 ☒ 歴史上の出来事を適切に並び替える問題に対する正答率が低い。基礎的・基本的な知識に関連して、その知識を活用して推測することに課題がある。 ☒	定期的な小テスト(一問一答形式を含める)の実施。 受験期に向けた徹底的な復習の実施。	単元のまとまりや各授業 1月以降	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
全学年 課題追究を個別で行い、追究した事項を共有して、深い学びにつなげる際に、ICT を活用する。	2年 単元ごとに単元を貫く問いの予想と振り返りを行い、自身の考えの変化を実感させる。他の生徒の意見などを視覚的に提示する。